

平成 29 年度 第 2 回 学校協議会まとめ

大阪府立泉北高等支援学校

- 1) 実施日時 平成 29 年 11 月 10 日 (金) 午後 3 時 30 分～午後 5 時 00 分
- 2) 実施場所 本校応接室
- 3) 出席委員 田村 仁彦氏 (前堺市立上神谷支援学校 校長) 協議会会長  
八田 忠敏氏 (元社会福祉法人コスモス理事長) 会長代理  
井上 直子氏 (堺市子ども相談所長)  
松林 利典氏 (堺市障害者就業・生活支援センター センター長)  
吉原 雅子氏 (大阪府立泉北高等支援学校前 PTA 会長)  
赤阪 博之氏 (堺市立上神谷支援学校校長) (※オブザーバー)

4) 内 容

① 開会(教頭)

配布資料を確認

本日の協議会成立確認

② 校長挨拶

③ 会長挨拶

委員の紹介・近況 (自己紹介等)

④ 協議①「平成 29 年度学校経営計画進捗状況等について」

※校長より報告(20 分)

資料 平成 29 年度 学校経営計画および学校評価

重点目標の進捗状況報告

「コース制の更なる充実」

作業担当の継承者現れた。

初任者の研究授業の取り組みが進んでいる。

生徒増に向け、実習先の開拓を進めている。

「支援教育力の充実」

初任者研修の助言を専門家に依頼した。

生徒増で、部活動も活発に行われている。

本校のあいさつ運動が大阪府庁にて放送され評価されている。

上神谷支援との新規交流を模索中。

「安全で安心な学校づくり」

大規模災害への対応を踏まえた防災計画を策定した。

泉北高等支援学校の課題

- ・堺市内の支援学校、支援学級の生徒数増加傾向もあり本校生徒数急増中。  
個別指導が必要な生徒も増加してきて、教室の確保なども含め今後の対策が喫緊の課題となっている。

- ・卒業後の就労率をできるかぎりあげつつも、就労の継続が課題である。雇用の定着への対応等、今後とも堺市障害者就業・支援センターとの連携が大切と考えている。
- ・これからも継続して地域の相談に応じられるよう、専門性の向上やコーディネーターの養成が必要となっている。
- ・生徒増より初任転任者の増加が見込まれるので、職員研修や作業担当者の技術継承を進めていく。これを契機に研修、授業研究などさらに活発に進めていきたい。
- ・道徳教育については、教科としてではなく授業全体で意識して計画的に進めていく。

○ 協議(20分)

- ・就業・生活支援センターでは、高等学校や大学等からの相談が増えてきている。支援学校としてのスーパーバイズとしての役割を期待している。
- ・上神谷支援学校から入学してくる生徒のケース会議に上神谷支援学校の教員が参加したり卒業生の動向などの情報の共有を進めていき、相互交流を深めていければよい。
- ・道徳教育や外国語教育などこれから益々課題が増えてくる。行事の精選も見通しながら、必要な行事のあり方も工夫していくことが必要。
- ・堺市で作成しているアイファイルの活用を進めていければよい。
- ・虐待件数がさらに増え、心理的虐待が増えている。地域全体での支えが必要な状況となっている。
- ・新設事業所の情報。
- ・実習を通じて子どもの成長を実感。日々の学校生活の充実を期待。

⑤ 協議②「学校教育自己診断について」

○ 報告(5分)と協議(5分)

- ・いじめについてのアンケートを加えて微修正した。
- ・経年変化がわかるようにするとともに、来年度の学校経営計画に有効に生かせるようできるだけ昨年度よりも前倒しに実施していきたい。

⑥ 意見書について

○ 無しの旨を教頭から報告

⑧ 会長まとめ

- ・様々な機関との連携や情報の共有を進めていくことで、泉北高等支援学校に役立つものになってきている。

⑨ 校長よりお礼

⑩ 事務連絡

- 次回、第3回協議会は、1月19日(金)15:30に開催予定